三か年の事業計画
総額六十六億五千万円
学校・社会教育で二十四億円

昭和五十四年度から五十六年度までの、三か年間の市総合計画実施計画ができあがり市議会十二月定例会で報告しました。

この計画は、昨年春策定した総合計画基本計画に基づいて、毎年むこう三か年の事業実施計画をたて、計画の見直しを行っているものです。そして、この計画を新年度予算の投資的経費（建設事業費）計上の基本としています。

三か年間の財政見通しとしては、経済の低成長下にあって市税の大幅な伸びは見込めず、また地方交付税の伸びも多くは期待できません。また競馬収入も伸び悩みの状態が続くのではないかと見られます。歳出では人件費をはじめとした義務的な経費の占める割合が高まってきているという一般的な傾向があります。

こうしたなかで、国の景気浮揚対策にのった国庫補助金の増額や起債充当率の引上げに期待すると共に、電源立地・石油貯蔵施設等立地対策交付金が見込まれることなどが特色となっています。

市役所の各課・機関等から出された三か年分の事業要望額は八十億円に達しましたが、財政計画の上からは三か年間の投資的経費（建設事業費）の合計は六十六億五千万円で、十三億円あまりの事業要望を見送らざるを得ませんでした。

投資的経費の財源別構成は国県補助金一九・五％、地方債三二・三％、その他七・四％、一般財源四〇・八％で、総財政規模の三三・四％を投資的経費に当てる計画になります。

三か年間における、事業の種類別事業費と全体に占める割合は、次のとおりです。

教育・文化関係（学校、社会教育施設など）　二六・四％　二四億円

道路関係（市道、街路、農道）　三六・六％　一七億三千万円

環境衛生関係（上水道、ごみし尿処理、地域汚水処理、都市下水路など）　六億四千万円　九・八％

一般行政（庁舎、事務処理合理化など）　六・一％　四億円

公園・レクリエーション関係　三億五千万円　五・四％

消防・救急関係　二億八千万円　四・三％

社会福祉関係　二億四千万円　三・六％

区画整理関係　二億三千万円　三・六％

産業関係　二億三千万円　三・六％

その他　四千万円　〇・六％

54年度

この年度の財政規模を六十億四千万円と予測し、この三六・七％に当る二十二億二千万円を建設事業に充当する計画です。

道路関係

道路関係の総額は五億四千万円です。

市道は、上大月平林線整備など、継続して行っているものについては優先的に取り上げ、前年と同様に主要財源として臨時市町村道整備事業債を見込みます。地元舗装に対する市の負担は四千万円ほどで、市道関係事業費の総額は二億四千万円です。

都市計画街路は、葛塚環状線、木崎尾山線の二路線を公共事業として計画し国庫補助金を見込みます。豊栄水原線の拡幅整備は継続して実施し、六千万円の事業費を予定します。そのほか葛塚南線、早通停車場北線の整備など、街路

（本町通の土地区画整理事業は継続して行います）

費は継続して計画し国庫補助関係の合計は二億一千万円です。

農道は、広域農道整備や広域附帯農道、団体営農道等の舗装に対する市の負担分は七千万円で、このほか既に実施した分に対する負担は二千万円あまりです。なお、新規事業としては県営附帯事業として鳥屋地区、三ツ屋地区が予定されます。

土地区画整理関係

本町通土地区画整理事業、川岸土地区画整理事業を継続して実施します。事業費は二千万円です。

消防・救急関係

葛塚競馬場線の豊栄警察署の近くに、消防署木崎出張所の建設を計画します。事業費は六千万円ほどが予定されます。また、狭くなった消防署車庫の増設を行います。このほか、サイレン自動吹鳴装置の整備（年次計画）、救助工作車の購入、消防自動車の更新、小型動力ポンプ付積載車の整備、防火水槽・井戸・消火栓など消防水利施設の整備などがあります。一億五千万円の事業費です。

教育・文化関係

七億七千万円の事業費で、学校関係は木崎小（三億二千万円）、早通南小（一億八千万円）の校舎建築が大事業です。ほかに葛塚東小校庭整備、豊栄南小校庭整備、木崎中校舎補修、葛塚中仮設校舎建設などがあります。

社会教育関係では、市立博物館の建設（一億五千万円）旧長場小屋体の整備を計画します。また、私立幼稚園整備に二千万円あまりの助成を予定します。

福祉関係

新潟長浦水原線のバイパス建設の関連で二葉保育園を移転します。一億四千万円の事業費を予定します。めぐみ保育園（岡新田）の小規模保育所格上げのための増築を計画します。また社会福祉法人立嘉山児童館の建設費助成、下越ミニコロニーやいじみの学園整備に対する負担を計上します。総額一億七千万円です

環境衛生

上水道は、広域上水道建設のための出資一千万円あまりです。

ごみ、し尿処理関係は、いずれも施設の増設に伴う一部事務組合に対する負担と、不燃物埋立地整備費で、四千万円あまりです。

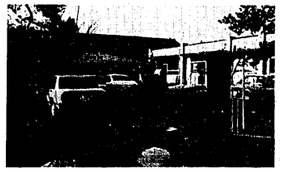
地域汚水処理は、豊栄駅うらの公社団地の地域汚水処理施設整備（一億一千万円で、これは全額開発事業者負担です

都市下水路は、早通下水路を引続き整備します。また、町浦川下水路、嘉山下水路の整備を計画します。災害対策として町浦川ゲート、および早通下水路の施設整備を計上します

都市下水路の合計は一億二千万円です。

公園・レクリエーション

下大口、見国山、中嘉山等の各公園の整備を計画し、ほかに南運動公園の環境整備など、五千万円です。



（二葉保育園は、長浦中学校わきに移転）

農業振興関係

豊栄西部地区潅水防除事業は継続です。新規に豊栄北部地区潅水防除事業を予定し、これらの事業に五千万円ほどの負担を予定します。

一般行政

道路台帳や税務関係公図の整備、戸籍のマイクロフィルム化などの事業に着手します。また、早通小学校跡利用による早通地区総合施設の整備もこの年度の事業です。

以上のほか、特別会計の事業として上水道拡張事業六億四千万円あまりがあります。

環境衛生関係

ごみ・し尿処理施設の増設は継続施工です。都市下水路町浦川・嘉山も継続です。

公園

軟式野球場を主体とした木崎運動公園を建設します。正尺、やまどおり、早通北、仏伝など、各児童公園の整備を図ります。

産業

引続いて施工される潅水防除事業（豊栄西部、北部）の負担をします。

一般行政・その他

市税関係事務、国民年金事務など事務処理の合理化を図ります。庁舎の分館建設計画を具体化します。そのほか、国土調査事業に着手することや、大気汚染環境監視施設の整備を進めることなどがあります。

特別会計事業

上水道拡張事業は引続いて実施され、この二か年間の事業費は十二億九千万円あまりが予定されます。財源は全額起債による計画です。

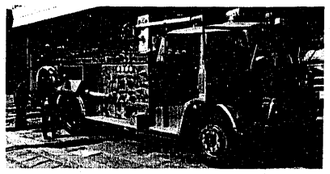
55・56年度

建設事業費を五十五年度二十一億六千万円、五十六年度二十二億七千万円と予測して事業計画を立案しました。

道路関係

継続事業を中心に整備を進めます。五十五年度五億五千万円、五十六年度六億四千万円です。

市道――五十四年度と同様、起債を主要財源として見込みます。各年度二億九千万円ほど



区画整理関係

川岸土地区画整理事業を完了し、本町通りは街路築造に着手したい計画です。

消防・救急・医療関係

木崎出張所建設に伴う車両の整備、放水砲車や小型動力ポンプ付積載車の整備、消防水利施設の充実を図ります。また、保健センターの整備を計画します。

教育・文化関係

小学校は葛塚小の移転改築笹山小の改築、早通南小の屋内体育館建設、木崎小改築の継続など、大きな事業がめじろ押しです。中学校は早通中の建設に着手し、用地取得や調査設計を進めます。また葛塚中の屋内体育館補修も必要です。社会教育関係は、博物館の施設充実を図ります。また要望の多い図書館の調査設計を進めます。

教育・文化関係に投じる二か年間の事業費は十六億三千万円あまりが予定されます。

福祉関係

乳児保育対策として、私立の施設に対する助成を計画します。社会福祉会館の調査設計など、建設計画に着手したい考えです。

化学消防車を配備

消防署に、県下でも最大クラスの化学消防車が、昨年の暮れに配備されました。

最近、市内を通過する油輸送車が増加したこと、ガソリンスタンドの増加、東港地域の油火災などに備えて配備したものです。

購入価額は、一千九百三万円ほどでしたが、このうち六百三十七万円ほどの国庫補金があり、一般財源は百五万円ほどで、残りは起債で賄われます。